

# 「保健体育」学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月〇日 (〇)
2. 場所 体育館
3. 学部・学年・組 中学部 第1・2・3学年
4. 単元名 「しようぜ！！ やきゅう」
5. 単元目標
  - ・道具を操作して、基本動作を身につけることができる。(知・技)
  - ・ボールを使った動きの中で、楽しさを表現することができる。(思・判・表)
  - ・野球の試合を通して、友だちと協力しようとする態度を養う。(学・人)

## 6. 生徒観 略

## 7. 教材観

本単元は、平成29年4月告示 特別支援学校指導小学部・中学部学習指導要領の小学部第2段階の「E ボールを使った運動やゲーム」に基づいて設定したものである。

野球を取り上げた理由は、3点ある。1点めは、我が国において国民的な文化となっている、非常に人気のあるスポーツで、生徒たちもテレビなどで見たり聞いたり触れる機会が多く馴染みが深いと考えられるところである。2点めは、ゲームにおいて攻撃と守備が分かれているベースボール型の運動では、十分な「間」を取ることができ、より安全に運動することができるからである。3点めは、バットなどの器具を自ら操作しボールを打つという楽しさを経験し、さらに、より正確により強くなど段階的に課題に挑戦していくことができるからである。

## 8. 指導観

野球には、「走ること(走)」・「攻めること(攻)」・「守ること(守)」の3つの技能があるが、本単元では主に「走」「攻」に重点を置いて学習を進めたい。「守」を省いた理由としては、ゲームを進めていく際に守備の要素には、移動して→ボールをキャッチする→投げるなど、一連の動作が必要だからである。特別な設定やルールで守備を行うこともできるが、より複雑なルールになり子どもたちが見通しを持ちにくい可能性がある。また、「走」「攻」2つの要素に絞ることは、子どもたちの課題や実態に合っているという点が挙げられる。ボールの色や大きさを変えたり、ティースタンドの高さを変えたりし、ボールに対してアプローチしやすい環境を設定し、球を自分の力で前に飛ばすことを経験することで、野球の楽しさを味わうことができると考える。さらに、ヒットを打ったり、ホームランを打ったりすると仲間から賞賛されるところに魅力を感じることができる。また、普段生徒たちが課題として取り組んでいる二者択一の場面も設定したい。使用するバットも握りやすい形状や、少しの力で強いボールが打てるような工夫・支援をする。

## 9. 単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>①バットを使って、ボールを前に飛ばすことができる。</p> <p>②それぞれの方法で、走塁することができる。</p> <p>③動画や教員の見本の動作(打つ・走る)を見て、競技のイメージを持つことができる。</p>	<p>①自分に合ったバットを考え、アウトの的を避ける判断ができる。</p> <p>②青(1塁ベース)赤(3塁ベース)のコーンを見分けて、正しい方向に走る判断ができる。</p> <p>③教員のヒットやアウトのジャッジで、ゲームの楽しみを表現することができる。</p>	<p>①呼名で自らバットを持ち、打席に移動している。</p> <p>②自ら無理のないスピードで、安全に移動しようとしている。</p> <p>③授業に意欲的に取り組んでいる。</p>

## 10. 単元の指導と評価の計画 (全8時間、本時は第5時)

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球について</li> <li>野球用品に触れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画やスライドを見る</li> <li>グローブやバットなどを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢を整え、画面が見やすいような配置にする。</li> <li>革の匂いや、重さなど感じやすいように持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A③(め線等)</li> <li>A①(握っているか、手を伸ばしているか)</li> </ul>
2	2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち方を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な打ち方の動画を見る</li> <li>バッティング練習①(バットを持って、打つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見やすいように位置を調整する。</li> <li>必要に応じて、教員が子どもの動きに合わせて支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A①(め線等)</li> <li>B①(身体の動き等)</li> <li>C①(自ら移動しようとしているか)</li> </ul>
	4 ⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻撃</li> <li>走塁</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッティング練習②(目標に向かって打ち分ける)</li> <li>目標(1塁ベース)に向かって移動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒットやアウトなど目標となるものを設置して、視覚的にわかりやすいようにする。</li> <li>わかりやすいように、旗などを置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A①(身体の動き等)</li> <li>B①(身体の動き等)</li> <li>A②(身体の動き等)</li> <li>B②(身体の動き等)</li> <li>C③(様子等)</li> </ul>

3	6 7 8	・試合(ゲーム)	・チームに分かれて、試合をする。	・ルールなどわかりやすくして、見通しを持ちやすいようにする。	・B③ C① C② C③
---	-------------	----------	------------------	--------------------------------	-----------------

## 11. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・バットを操作してボールを打ったり、走塁したりできる。(知・技)
- ・ボールを打ち分けたり、走塁方向を判断して移動できたりする。(思・判・表)
- ・状況を判断して動き、意欲的に参加している。(学・人)

### (2) 本時の評価規準

- ・バットでボールを打ったり、走塁したりできる。【A①②】
- ・ボールを打ち分けたり、走塁方向を判断して移動したりすることができる。【B①②】
- ・意欲的に活動に取り組んでいる。【C③】

### (3) 本時で扱う教材・教具

- ・モニター(本日の流れと目標の掲示) ・タブレット端末
- ・バット ・ボール ・ティースタンド ・ベース(目標物) ・コーン(目標物) ・打撃補助用具
- ・ヒット、アウトなどの的 ・スピーカー(活動時のBGM用)

### (4) 生徒の実態と本時の目標 略

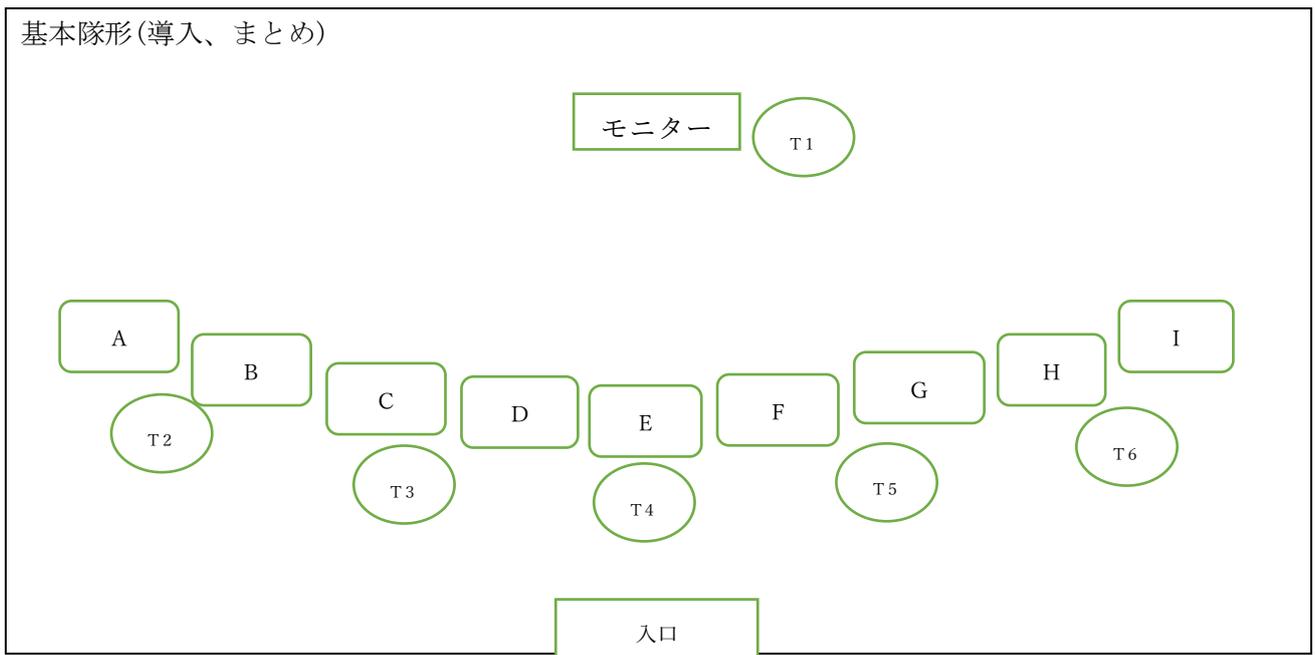
### (5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
10分 導 入	1 あいさつ  2 今日の流れ ・モニターを見て、話を聞く ・グループ分けをする  3 準備体操 ・ラジオ体操第一を行う	・前に出て、あいさつをしてくれる生徒を問う。 ・モニターにスライドを表示させて、活動内容や目標、グループなどを伝える。必要に応じて画面が見えやすい位置へ移動する。  ・前に出て体操をしてくれる人を募る。いなければ、指名する。 ・音楽を流す前に、音が鳴り始めることを伝える。	・C③(活動の様子)         ・C③(活動の様子)
30分 展 開	4 ティー打撃 ・ティー打撃の見本をみる  ・ティースタンドの上のボールを	・T1が実際にバットでボールを打ち、イメージを持たせる。  ・バットを複数から選択できるように	・B①(活動の様子)

	<p>バットで打つ(1人 約3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒットの的に向かって打つ</li> </ul> <p>5 ティー打撃+走塁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見本をみる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ティースタンドの上のボールを打った後、目標(1塁)まで移動する (1人3スイングで、3スイングめに移動をする)</li> </ul>	<p>に、見やすい位置に提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ生徒の実態に応じて、バットを動かしやすいような支援をする。必要であれば、生徒と一緒にスイングする。</li> <li>・見やすいような色や大きさのボールを使用する。</li> </ul> <p>※各グループ間の様子を見て回る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T1が実際にバットでボールを打ち、目標まで移動し、イメージを持たせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアにボールなどが落ちていると踏んで躓く恐れがあるので、その都度確認する。</li> </ul> <p>※各グループ間の様子を見て回る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B②(活動の様子)</li> </ul>
<p>5分</p> <p>ま と め</p>	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の目標を再確認して、教員と一緒に振り返る</li> </ul> <p>7 あいさつ</p>	<p>(各グループ1人ずつ指名する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら感想等を述べるができる生徒には、教員が問いかけるなどし、発言しやすい環境を設定する。発言が難しい生徒には、二択を提示するなどし、答えやすい支援をする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前に出て、あいさつをしてくれる生徒を問う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C③(活動の様子)</li> <li>・ C③(活動の様子)</li> </ul>

(6) 教室配置等（正面を上にして、生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）

基本隊形(導入、まとめ)



基本隊形(展開)

